

市民公開講座

健康障害を抱える人々の生活の質の向上を目指して

歯科口腔外科 部長 井上さやか

昨年9月24日にTOYAMAキラリ9階ファーストバンクホールにて、市民公開講座を開催しました。体のあらゆる部位に起こるそれぞれの障害をターゲットとした講演に、約130名の方にご参加いただきました。

第1部は、膝の痛みを引き起こす病気とその治療法について整形外科医師が説明し、チーム医療で支える膝治療について多職種がリレー講演を行いました。第2部は、飲み込みのしくみをクイズ形式で解説し、きれいでよく動く口が飲み込みには重要であると歯科医師がご説明しました。第3部は、おしっこの通り道にできる石の治療法について泌尿器科医師が講演を行いました。実際に石による痛みを経験した参加者のお話も聞かせていただき、臨場感あふれる講演でした。

当院では、多くの職種がそれぞれの専門性を

活かした医療を提供することで、健康障害を抱える皆様の生活の質が向上することを目指しております。今後もこのような公開講座を引き続き開催して、皆様のお役に立ちたいと考えております。



市民公開講座

少年野球肘について

整形外科 主任部長 藤井 秀人

平成30年2月11日、5年ぶりに当院の研修ホールで少年野球肘の市民公開講座を行いました。

まず私から「野球肘ってどんな病気？ 気を付けよう、投げ過ぎ、フォームと柔軟性」、次に、小中理学療法士から「野球肘を予防するためには何が必要？ 負担の少ない投球フォーム&野球選手に必要なストレッチ」、の計2題でした。

私は自分の3人の子供が野球をしていた立場から、また小中理学療法士も自分が小学生以降、野球肘で悩んだ立場からスライドを作成し、約1時間30分でお話させていただきました。途中には、肩のゼロポジションの重要性、30秒で柔軟性が改善するストレッチ方法など、聴講者にも体を動かしていただくことを交えたので、野球肘を心配して来られた親御さんたちに十分伝わったのではないかと思います。

今後も発症率が20%と言われている野球肘で悩

む選手や親御さんを、少しでも減らしていく活動を続けていきたいと思っております。



市民公開講座

血管病と心臓リハビリの市民公開講座を開催しました！

糖尿病・内分泌内科 部長 伊藤 みか

平成30年2月12日、第4回目の血管病の市民公開講座をTOYAMAキラリホールで開催しました。今年の冬は例年にない大雪となり、外出するのも一苦労の日々が続いていました。このため昨年より少なかったものの、100名を超える市民の皆様にご参加いただきました。

今回は、血管病(脳卒中・心血管病・糖尿病)の病態、検査、治療、再発予防について、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士からご説明し、心臓リハビリの概要や当院の取り組みについてご紹介いたしました。

3時間にわたる長丁場の講演会でしたが、参加された方は熱心に聴いてくださいました。当院では、今後も定期的に市民公開講座を開催していく予定です。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



申込不要 参加無料

市民公開講座

どなたでもご参加いただけます！

後悔しない膝の治療の選び方

～なぜ痛くなるの？手術をしない治療法から、内視鏡、骨切り術、人工関節置換術まで～

開催日時

7月8日(日) 受付・開場9:40～
10:00～11:30

済生会富山病院 2階 研修ホール



講演 1

高齢者の膝の痛みについて 済生会富山病院 人工関節センター長
藤井 秀人先生

講演 2

チーム医療で患者さんを支える
当院の人工関節センターについて

看護師・リハビリ担当・
医事課入院係・
ソーシャルワーカー